



2022年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社 Kaizen Platform
 代表者名 代表取締役執行役員 CEO 須藤 憲司
 (コード：4170、東証グロース)
 問合せ先 経理財務部部长 朝井 秀尚
 (ir@kaizenplatform.com)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月14日開催の取締役会において、2022年2月14日に開示した2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年12月期の通期連結業績予想の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

(単位：百万円)

	売 上 高	E B I T D A	営 業 利 益 又は営業損 失 (△)	経 常 利 益 又は経常損 失 (△)	親会社株主に 帰属する当期 純利益又は純 損失 (△)	1 株 当 たり 当期純利益又 は純損失 (△)
前回発表予想 (A) (2022年2月14日)	3,000	250	50	10	0	0円00銭
今回発表予想 (B)	2,600	150	△100	△120	△230	△13円89銭
増 減 額 (B-A)	△400	△100	△150	△130	△230	—
増 減 率 (%)	△13. 3	△40. 0	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2021年12月期)	2,260	221	45	△25	△101	△6円41銭

2. 修正の理由

当社連結の売上高と営業利益につきましては、主に動画ソリューションの収益性の低い商品の再編と運用の見直し、および営業チャネルの再構築に想定以上に時間を要しており、減少が見込まれるものです。また、各段階利益につきましては、営業利益において、上述の要因による影響を△110百万円、2022年10月20日に発表した株式会社ハイウェルの子会社化に関する株式取得費用の追加計上により△40百万円を見込み、さらに、経常利益において、持分法適用関連会社の損失縮小による営業外損益の20百万円増、当期利益において、子会社に関わる法人税の見通し等を修正して△100百万円計上し、株式取得費用や法人税等、一時的な項目の発生もあり前回予想より減少する見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績とは異なる可能性があります。

以 上